

事業概要シート

施策 0503 医療体制の充実

《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	夜間初期診療事業	現状維持	予算額	64,141 千円	
				《 63,369 》千円	
事業期間	平成19年度 ~		財源内訳	国庫支出金	千円
根拠法令要綱等	大村市夜間初期診療センター条例、大村市夜間初期診療センター条例施行規則			県支出金	千円
				地方債	千円
				その他	26,442 千円
			一般財源	37,699 千円	

【事業の目的・概要・対象】

【目的】

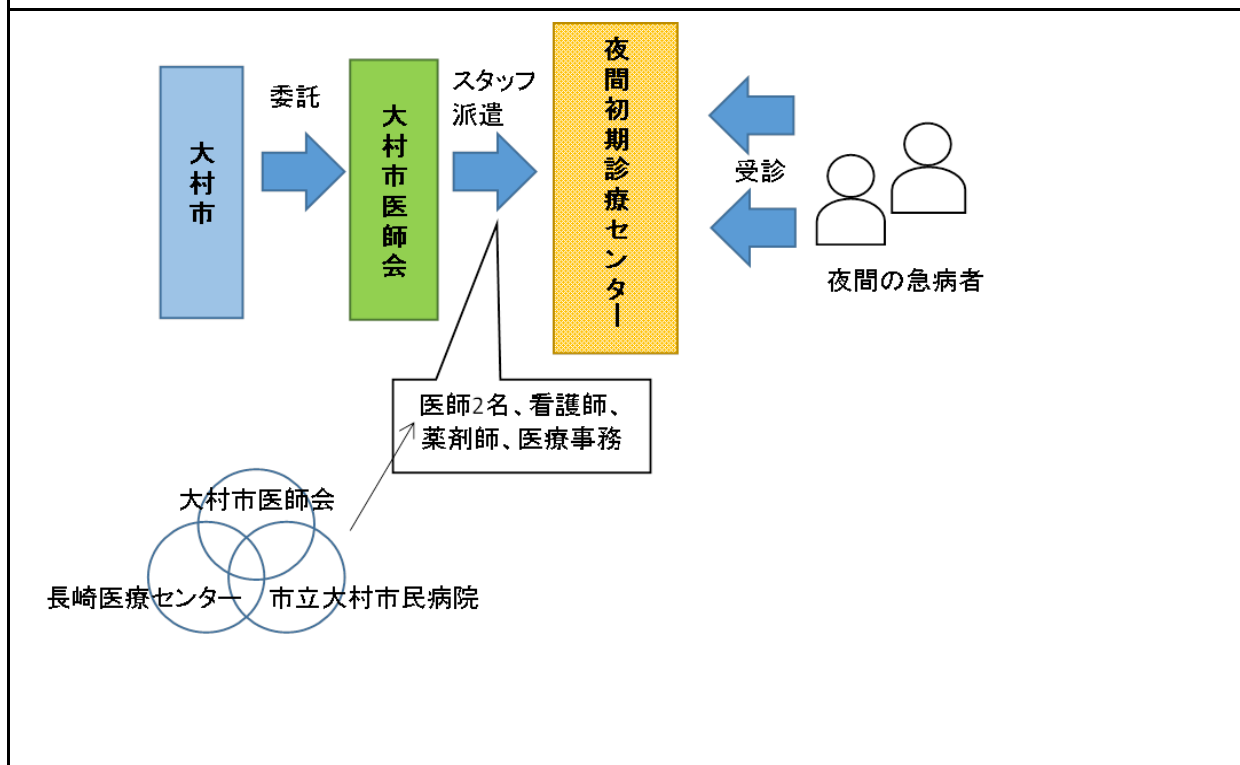
夜間初期診療センターの設置により、民間の医療機関の診療時間終了後の19時から22時までの時間帯における急病者に対応する。

【概要】

こどもセンター内に夜間初期センターを開設し、大村市医師会、長崎医療センター、市立大村市民病院から派遣された医師2名が毎日交代で診療にあたる。

【対象】

小児科・内科の急病者



【背景】

夜間において、重症・重篤患者を受け入れる高度救急医療機関に多くの軽症患者の受診があり、本来の救急医療体制に支障が出てきていた。市民に安全・安心な医療を提供するためには、初期・2次・3次救急医療機関の役割分担を明確にし、それぞれの役割に応じた救急医療体制を構築することが必要であることから、夜間の小児科の初期診療を担う施設として、平成19年4月に「こども夜間初期診療センター」を開設。平成25年5月に内科が加わり、現在は「夜間初期診療センター」として診療にあっている。

担当課	福祉保健部国保けんこう課	課長	坂上 正信
担当者	三谷 優子	問合せ先	0957-53-4111 (内線152)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	受診者数	人	3,929	4,875	5,000	5,000	5,000
②							

【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	使用料	千円	25,283	26,561	26,561	26,561	26,561
②							

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	63,143	62,497	63,369	64,141	63,369	63,369	379,888
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	27,369	25,285	26,561	26,442	26,561	26,561	158,779
一般財源	35,774	37,212	36,808	37,699	36,808	36,808	221,109
人件費	3,884	3,880	3,934	3,934	3,934	3,934	23,501
職員(人)	0.53人	0.53人	0.53人	0.53人	0.53人	0.53人	3.18人
時間外勤務(h)	15h	13h	40h	40h	40h	40h	188h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	67,027	66,377	67,303	68,075	67,303	67,303	403,389

妥当性 (市の関与)	重篤な患者に対応する2次・3次救急医療機関の負担を軽減し、救急医療体制を確保するため、小児科及び内科の初期診療を行う本事業は必要であり、関係機関との連携を図るため、市が主体的に進めることは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	市民に安全・安心な医療を提供するために、初期・2次・3次救急医療機関の役割分担を明確にし、それぞれの役割に応じた救急医療体制の構築に貢献するものである。
効率性 (コスト)	医師の確保については、大村市医師会と委託契約を結び、診療にあたっている。施設管理は、こどもセンターと一括して管理するなど効率的な事業の実施に努めている。また、医薬材料費については、実績に応じ適正に調達するなど、支出の削減に努めている。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	一次評価のとおり